

今 後 の 問 題

以上でわが国の鉄資源の需給状況、利用状況および賦存状況の概要を述べてきたが、いずれにしてもわが国の鉄資源は鉄鋼業に対して貧弱であることは免れない。

今後も輸入鉱石にある程度の依存をせざるを得ないが鉄鋼業の健全な発達のためには国内鉄資源の開発を積極化して、海外鉱石依存度の軽減を計らねばならない。

昭和29年度から5カ年計画で、砂鉄および磁硫鉄鉱を対象として未利用鉄資源開発分科会が設置されたことも鉄資源開発促進の1つであつて、このほかにも各方面において鉄資源開発促進に全力をあげている。

鉄資源の開発に当つて特に下記事項に重点をおくことが望ましい

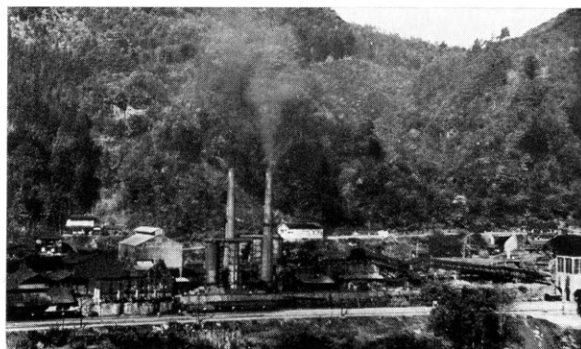
1. 低品位鉱の調査及び利用研究

従来の調査資料を総合すれば 未利用低品位鉱が相当多量に休眠していることが明らかとなり近年になつて その利用に着目するようになり選鉱技術の進歩と相まつて 既に釜石・別子・赤金などの各鉱山において低品位鉱から鉄鉱石が回収されるようになった

この目的に沿うため 低品位鉱の賦存状況および性状の調査を他の鉱物資源とともにに行い 利用研究を進め 利用される鉄資源の増加を計ることが望まれる

2. 未開発地域の調査

新潟県の日本平地方 福島県の奥会津地方 青森県十和田湖北地方地方などのように 相当多量の鉄資源の分布が予想される未開発地域が各所に見受けられ いずれも交通不便なため開発がはばまれているが このような地域に対しては総合調査を進める必要がある



群馬鉄業所太子焼結工場 [鋼管鉄業提供]

群馬県吾妻郡六合村にあり ロータリーキルン2基(長さ38m×径2.5m)を備えてジャロサイトと褐鉄鉱の混合鉱石即ち鉄分38% 硫黄分7%の原鉱を焼成して鉄分56%硫黄分0.2%の焼結鉱を年間4万t生産している

3. 砂鉄の海底調査

北海道噴火湾沿岸 青森県津代海岸 鹿児島海岸 大分県国東海岸などには相当多量の浜砂鉄の埋蔵していることが明らかにされているが さらにそれらの沿海にも相当多量の砂鉄の埋蔵が予想される

これらの海底砂鉄の賦存状況を明らかにすることが望まれており 前提としてまず調査方法に対する研究から出発することが大切である

4. 潜在鉄床の調査

地表調査によつて地表近くの鉄床は開発されているが 潜在鉄床の開発に関しては調査が充分に行届いていない傾向がある

このような調査の実施に当つては物理探査・試錐などの方法を大いに活用することが望まれる

青森県天狗岱付近や天間林付近の砂鉄層にこの方法を用いることによつて 相当広範囲にわたるその潜在鉄床の状況が確かめられている

地質調査所は従来から以上のような見解により調査を進めてきているが、業界における鉱石処理技術の向上についての研究と相まつて、今後の鉄鉱石自給度の向上を計りたいものである。